

## CML 舵輪カバー 取り付けガイド

### 取り付けを始める前に

#### 1. 革材の準備

革材はぬるま湯に15分程度浸しておきます。その後の作業中も革が乾かないように随時水を付けながら作業を行ってください。霧吹きなどがあると便利です。

#### 2. 舵輪側の準備

舵輪はよく洗浄して埃や汚れなどを落とし、しっかりと乾燥させてください。必要に応じてアセトンなどの揮発油を用いての清掃を行って頂ければ確実です。

### 取り付け作業

#### 1. 両面テープの貼り付け

革材を取り付けたい位置に両面テープを貼り付けます。スポークカバーを取り付ける場合はスポークカバーから作業を始めてください。

#### 2. スポークカバーの縫い付け

革製品を縫製する時は、革が取り付け部分に密着するようしっかり張りながら縫製するのがコツです。ただし強く引きすぎる必要はありません。革は乾燥した時にきつくなってピッタリとフィットし、下地の両面テープにも付いてしっかりと固定されます。

糸を80cm ほど出し、ニードルに括り付けます。縫製は2本のニードルで行います。図1を参照し、スティッチパターンを決めてください。いずれのパターンを選んだ場合も強度、作業の所要時間に違いはありません。縫製が終わったら糸を軽く締め付け、リム(外周のハンドル)に糸を一周させてから縛り、エンドを焼き切ってください(図2参照)。

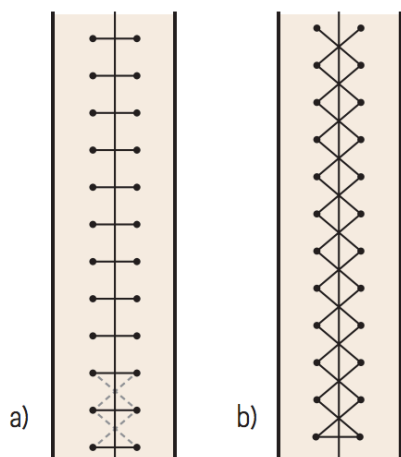


図 1

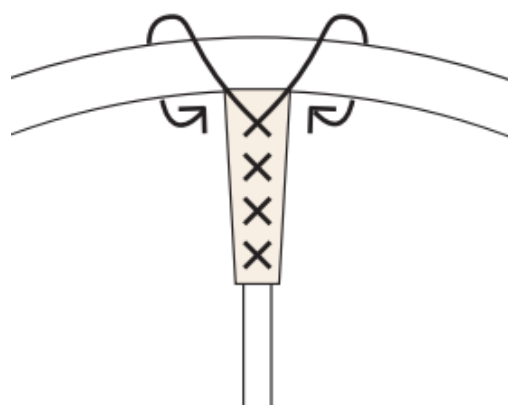


図 2

### 3. リムカバーの縫い付け

両面テープを約 50cm リムの外周部(図3参照)に貼り付け、革材のセンターがリムの外周にピッタリ沿うように貼り付けます。縫製穴が空いた部分を残してしっかりと革材を貼り付けたら縫製を開始します。縫製が済んだら軽く糸を締め付け、必要に応じて革を水で濡らします。その後新たな両面テープを貼り付け、作業を繰り返します。

### 4. リム用革材同士の縫い付け

革材のエンドに空いた穴は隣り合う革材パネル同士を縫い合わせるためのものです。この穴に糸を通して縫合せを行ってください(図4参照)。最後の1パネルは必要に応じて長さを調整する必要があります。鋭いスパイクなどで新たな穴を空け、1枚目の革材パネルと縫い合わせます。

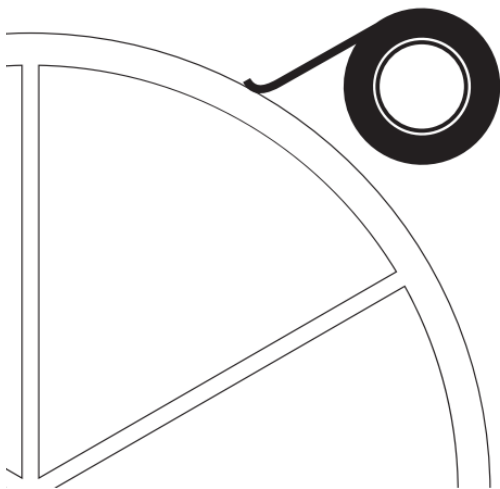


図 3

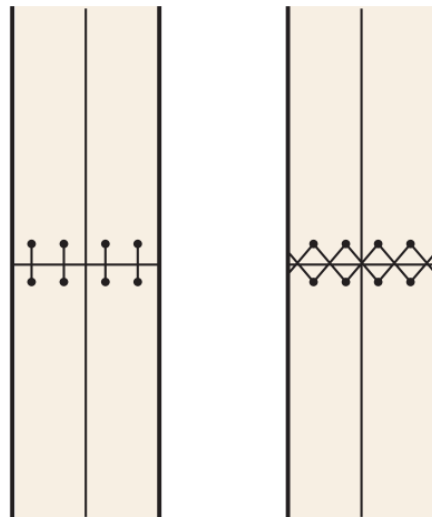


図 4

うまく仕上げるコツのまとめ。

- ・ 霧吹きなどで革材を湿らせながら作業する。
- ・ 縫製が終わったら糸を軽く締め付ける。
- ・ 革はピンと張りながら作業する。但し引き伸ばすほど引っ張らない。
- ・ 革材は乾燥後両面テープにもしっかり定着します。